

科目名	臨床医学概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	疾病の成り立ち			
担当者	斎藤 あつ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	<small>全員参加型=通常の反転授業+設問解答型+ディスカッションorグループワーク</small>	実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <p>栄養・運動を通してヒトの健康に関わり社会に貢献できるようになるために、基盤となる「ヒトの体に起こる病気の成因・病態および治療・予防」について基礎的知識を身につけることを目標とする。具体的には、主な疾患を列挙し、各疾患の成因・病態、治療・予防法について説明することができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヒトの体に起こる病気の成因・病態および治療・予防に関連する基礎的知識について、医師免許を有する教員が講義を行う。講義の進め方としては、予め、学習する教科書の範囲などが示されるので、学生は、まず教科書を読み、予習学習して講義に臨むものとする。学生は、講義を聴いて、出された設問に取り組む、または、まず出された設問に取り組む、講義を聞いて、正解を見つけるなどとする。講義中には、適時、ディスカッションしたり、質問したりする機会が与えられ、全員参加型で授業を進める。このようにして、各授業コマの重要ポイントを理解しながら、学修する。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤となる「健康医学入門」「解剖生理学」の知識を確認しておくこと。</li> <li>・予め、学習する教科書の範囲などが示されるので、学生は、教科書をよく読んで予習して授業に臨み、出された設問にはしっかりと取り組み、講義をよく聞いて、理解すること。</li> <li>・各回、予習・復習を合わせて4時間程度の学習を必要とする。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器系(消化管)の病気</li> <li>2. 消化器系(肝臓・胆嚢・膵臓)の病気</li> <li>3. 循環器系の病気</li> <li>4. 呼吸器系の病気</li> <li>5. 血液の病気①</li> <li>6. 血液の病気②</li> <li>7. 腎臓・尿路系の病気</li> <li>8. 内分泌系の病気</li> <li>9. 女性生殖器・男性生殖器の病気</li> <li>10. 神経系 感覚器系</li> <li>11. 免疫系の病気</li> <li>12. 代謝性疾患</li> <li>13. 感染症 補足とまとめ</li> </ol> <p>(授業の進み具合や理解度によって、前後にズレが生じたり、順序が入れ替わったり、内容に変更が加わったりする場合があります。)</p>				

科目名	臨床医学概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	疾病の成り立ち			
担当者	斎藤 あつ子			
<p>[ 成績評価方法 ]  試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)  再試験を行う場合があるが、原則として、再試験の追試験、追試験の再試験は行わない。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に設問を出した場合には、その授業又は次の授業中に解説する。  課題レポートを課した場合は、レポートは原則返却しないが、本科目のいずれかの授業中に解説などする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 栄養1-1/栄養士として、栄養学的知識はもとより、健康やスポーツに必要な食・栄養・運動に関する基礎的・専門的知識を修得している。  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>学科DP番号/DP内容: 栄養2-1-3/国際貢献ができる能力を持つ。  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>学科DP番号/DP内容: 栄養3-2/国民の保健・医療・福祉のため、自己の知識・技術・経験をもてる限り提供することができる。  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 試験70%  授業中の設問などへの取り組み30%(履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Visual 栄養学テキスト  人体の構造と機能および疾病の成り立ちIII  疾病の足りたち  著者名: 編/田中清 出版社: 中山書店 (978-4-521-74286-1)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  栄養科学イラストレイテッド  臨床医学 疾病の成り立ち 著者名: 編/田中明・藤岡由夫 出版社: 羊土社 (978-4-758-11367-0)  体と病気のしくみ 著者名: 田中文彦 出版社: マイナビ (978-4-8399-6552-5)</p>				